

兵庫県保険医協会 北阪神支部主催

「職員接遇研修会」

のご案内 (医療安全管理受講証発行)

～ 接遇の基本とクレーム対応 ～

日時 5月15日(土) 14時～16時

会場 伊丹市立商エプラザ
(伊丹商工会議所ビル4階) 会議・研修室A
(伊丹市宮ノ前2-2-2 ☎0727-73-5007)

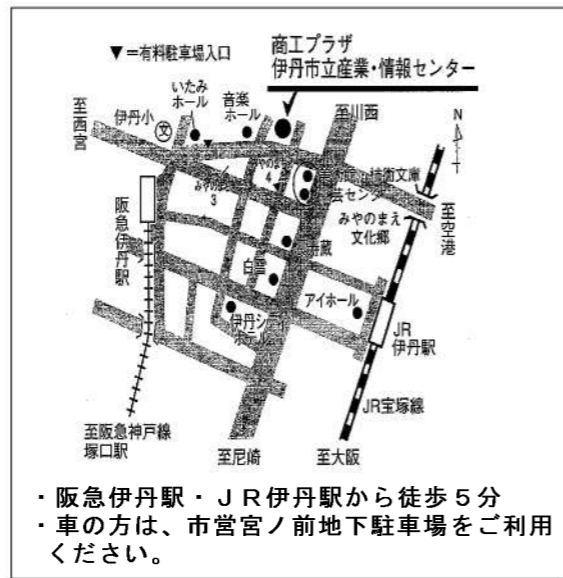
講師 大手前短期大学准教授 水原 道子 先生

参加費 1000円 / 定員 60人

医療機関においては、個々の職員の対応によって医院への信頼やイメージが創られるため、患者さんとの接遇やサービスの質の向上が強く求められています。

今年は講師に水原道子先生をお招きし、患者心理をふまえてその日から実行できる接遇のポイントや、クレームをクレームにしないテクニックなど実技を交えお話いただきます。新人職員の方だけでなく、中堅、ベテランの方もこの機会にぜひご参加下さい。

お申込、お問合せは・・・
TEL078-393-1809 (吉永・小川) まで



(切り取らずに送信ください)

【FAX返信】078-393-1802宛

● 職員接遇講座に申し込みます

保険医協会北阪神担当行

お名前	職種	経験年数

医療機関名 _____ ☎ () - _____ FAX () - _____

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2010年4月25日号 No.202
 発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
 支部長 中井通治
 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
 神戸フコク生命海岸通ビル5階
 ☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802
 http://www.hhk.jp/

点数改定研に医科・歯科計200人超が参加

実質マイナス改定に怒りの声



北阪神支部は3月25日、伊丹シティホテルで2010年度診療報酬改定研究会を開催。医科会場では脇野耕一副支部長を講師に155人が参加した。

脇野先生は、再診料が71点から69点に引き下げられたことに触れ「200床未満の病院の再診料を9点引き上げたことは、困窮する中小病院にとっては益になるが、診療所分を引き下げたことは大きな問題。病院と診療所を対立させるような改定では医療現場の改善にはつながらない」と問題点を指摘した。



歯科会場では川村雅之副支部長、鈴木明彦理事(灘区)を講師に60人が参加した。

川村先生は「『歯科医療危機阻止を』の世論と運動により初・再診料が大幅に引き上げられたのは評価できるが、スタディモデルが基本診療料に包括されたり、歯科疾患管理料の点数が引き下げられるなど歯科治療の根幹をなすものが低点数なのは問題」と訴えた。

「再診料引き下げ」に不安の声が(上・医科会場・3/25) 鈴木・川村両先生が講師を務めた(下・歯科会場・同)

参加者からは「政権交代後はじめての

改定だが、小手先で医療費の配分を変える従来の路線は変わっていない」「診療報酬全体の底上げがないと、このところの連続マイナス改定を挽回することはできない」などの感想が出された。

健康と医療について語り合う会

糖尿病の予防と治療を明快に

仁川北自治会(宝塚市)で岸本通彦先生が講演



豊富な資料で解説した

北阪神支部は3月7日、宝塚市仁川会館で、健康と医療について語り合う会「ホントは怖い高血圧・糖尿病のはなし」を開催(仁川北自治会と共催)。岸本通彦先生(宝塚市鹿塩)を講師に市民ら13人が参加した。感想文を紹介する。

岸本先生にはスライドでわかりやすく明快にお話をさせていただきました。質疑応答の際に「糖尿病予備軍と言われているのですが・・・」とのお尋ねがありました。それに対して先生は、「合併症の可能性は糖尿病予備軍も臨床例として同じくらい


発症率が高く、決して油断は禁物で患者と同じ取り組みが必要で、重く受け止めて対処すべき」とのお答えでした。質問者の方は緊張の面持ちで聞いておられました。

その後2、3日してその方にお会いしました。元気なお声で「この間はありがとうございました。気持ちもすっかり取り直して予防に意識的に取り組んでいるんですよ。歩くだけでなく食事も気をつけ始めました。薬も考えてみようと思っています」と言われました。すっかり前向きな明るい様子でしたが、この方のような予備軍と言われる人たちが実際は多いんだろうなと思いました。

当日は天気が悪く、折角の先生の明快なお話をたくさんみなさんに聞いていただくことができませんでした。つくづく残念で仕方ありません。保険医協会には大変お世話になりました。

【仁川北自治会 副会長 早川安夫】

健康情報テレホンサービス

〈5月のテーマ〉 通話料無料 (0120) 979-451 

- 月曜日 子どもの不登校
- 火曜日 歯ぎしり
- 水曜日 神経内科をご存知ですか
- 木曜日 出血性胃潰瘍の薬物療法
- 金土日 うつ病の家族を支えるために

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。

<http://www.hhk.jp/>

宝塚社保協・宣伝行動

後期医療制度は即刻廃止を

中井通治支部長が白衣の宣伝行動



対話を進めながら宣伝する中井支部長(中央)



多数の市民が署名協力した

中井通治支部長、脇野耕一副支部長が副会長をつとめる社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)は2月15日、後期高齢者医療制度保険料の年金天引き日にあわせ、阪急逆瀬川駅前制度廃止を求める宣伝・署名行動を行った。12人が参加し、1時間で130筆の署名を集めた。

マイクをとった中井先生は「後期制度を廃止して元の老人保健制度に戻すことは民主党政権の主要な公約の一つだったはず。『新制度ができるまで』と現状を繰り返すのはゴマカシ以外何ものでもない」「高齢者の負担を増やし、受診抑制につながる同制度は直ちに廃止を」と訴えた。

署名に応じた市民からは「老人の自分だけでなく団塊世代の息子のためにもあきらめず声を届けたい」「民主党政権は後期制度だけでなく普天間移設問題などでも不安が多い」などの感想が出された。

お知らせ

■兵庫県保険医協会のホームページは <http://www.hhk.jp/>

■会員専用のメーリングリストを開設しております。登録いただける方は下記までお知らせください

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp

TEL:078-393-1801 FAX:078-393-1802

